

設備工事情報シート	衛生	Ⅱ-P-38-改 ₁	制定	2017年3月1日
			改訂	2019年3月1日
機器・材料	下水道用ポリエチレン管		積水化学工業編	

1. 目的・概要

近年、敷地内の埋設給水配管あるいはピット内をはじめとした屋内給水配管では、耐食性、耐久性、耐震性、施工性に優れた樹脂管（建物給水用高性能ポリエチレン管）の採用が増加している。

一方、排水配管においては、建物の高層・大型化、大規模再開発、沿岸部での開発時等に、既存下水道本管の能力オーバーや配管勾配が確保できない状況が増えおり、地下階等に排水槽を設置し屋間の排水を一旦貯留した後、下水道本管に余裕のある夜間に圧力式・圧送式での排水を行う等の対策が講じられている。

そこで、敷地内の排水配管に対しても、圧力式・圧送式での排水に使用の出来る耐食性、耐久性、耐震性、施工性に優れた樹脂管である「下水道用ポリエチレン管（日本下水道協会規格品；JSWAS K-14）」について紹介する。

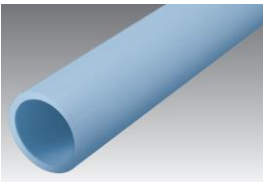
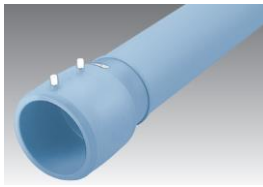
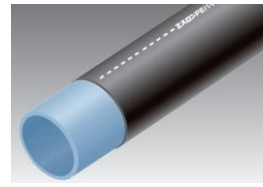
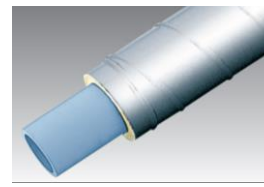


2. 施工手順・ポイント（詳細はカタログ、施工マニュアルを必ず確認すること）

	<p>1. 管の切断 管に有害なキズがある場合は、その部分を切断し除去する。</p>		<p>7. 継手と管の固定 クランプを使って、管と継手を固定する。</p>
	<p>2. 管の清掃 管に付着している土や汚れをペーパータオルで清掃する。</p>		<p>8. 融着準備 ①コントローラーの電源を入れ、表示内容を確認する。 ②コネクタと継手のターミナルピンを接続する。</p>
	<p>3. 挿入標線の記入 継手挿入代を管の円周方向に記入する。</p>		<p>9. 融着 バーコードリーダーで継手に貼付されているバーコードを読み取り、通電開始スイッチを押す。</p>
	<p>4. 切削面の記入 継手の融着面の範囲に油性ペン等でマーキングする。</p>		<p>10. 検査 ①コネクタを取り外す。 ②インジケータが左右とも継手表面より隆起していることを確認する。</p>
	<p>5. 融着面の切削 油性ペンでマーキングした部分が完全に消えるまでスクレーパーで切削する。</p>		<p>11. 冷却 冷却時間終了後、クランプを取り外す。</p>
	<p>6. 継手内面と管外面の清掃 アセトン等を染み込ませたペーパータオルを使用して融着面を清掃し、継手挿入代を再度記入する。</p>		

資料

3. 種類

種類	下水道用ポリエチレン管 (フレンジ付直管)	下水道用ポリエチレン管 (EF片受け直管)	下水道用ポリエチレン管 屋外配管用 (エスロンPEハイスUVガード)	下水道用ポリエチレン 被覆付管 (被覆付ポリエチレン管)
写真				
説明	日本下水道協会規格品 (JSWAS K-14)	日本下水道協会規格品 (JSWAS K-14) 直管にEF受口を組み合わせることで、施工の簡易化が図れる。	紫外線や外面からの裂傷防止にリサイクルポリエチレンで保護した二層タイプの管。	硬質ウレタンフォームで被覆し、スパイラルダクト直管で外面保護した管。 金属管に比べ1/3~1/5と軽量で施工性に優れる。

4. 使用条件

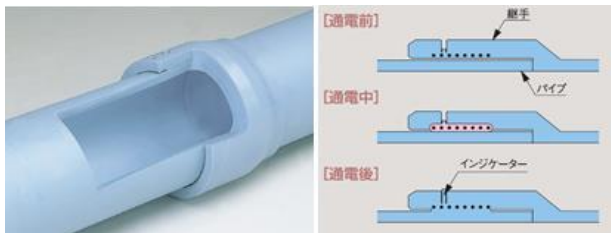
下水道用ポリエチレン管の最大設計圧力は、20°Cで1.2MPa、35°Cで0.96MPaの圧力管路に使用できる。

使用温度(°C)	20	25	30	35	40
最大設計圧力(MPa)	1.20	1.10	1.03	0.96	0.88

5. 特徴

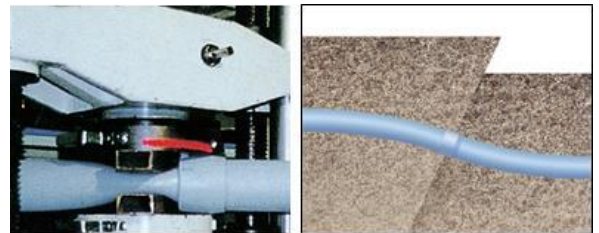
(1) 水密性

EF接合による管路一体構造。



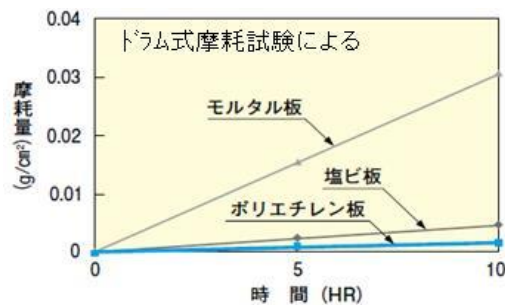
(2) 耐震性

管の柔軟性により、地盤変動に追従。



(3) 耐摩耗性

塩ビ管の2倍以上の耐摩耗性。



(4) 耐食性

酸・アルカリに強く、腐食しない。

(5) 流量特性

内面平滑で流量確保に優れる。

(6) 施工性

軽量で運搬、取り扱いに優れる。

6. 問い合わせ先

積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー

東北支店		中部支店		九州支店	
土木システム営業所	022 (217) 0607	土木システム営業所	052 (307) 6802	土木システム営業所	092 (271) 1314
東日本支店 土木営業部		西日本支店		積水化学北海道(株)	
東京土木システム営業所	03 (5521) 0645	近畿土木システム営業所	06 (6365) 4510	直需・ストック営業部	011 (737) 6330
関東土木システム営業所	048 (646) 0160	中国土木システム営業所	082 (224) 6219		
横浜営業所	045 (311) 9115	北陸営業所	076 (231) 4245		
静岡営業所	054 (275) 0720	京滋営業所	075 (662) 3418		
甲信営業所	0263 (38) 1220	四国営業所	087 (821) 2113		
東関東営業所	043 (204) 5070				